

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

「カラダよろこぶ

オイルおにぎり」

神田 依理子 著



話題のオイルおにぎりの本。
体にいいオイルを手軽に摂取できそうです。

TEL0996-86-1111

町立 鷹巣図書館

TAKANOSU LIBRARY

「得する家事」

あのニュースで得する人損する人 編



情報バラエティ番組で披露した、そうじ、片付け、収納、料理などのワザを紹介します。

TEL0996-88-6500

町立 指江図書館

SASUE LIBRARY

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungo
ながしまぶんげい

明神俳句会

黒々と古墳の巨石山笑ふ
春の海身体にのこる船の揺れ
つちふるや流れ着きたる遣唐使
初桜咲きて早や娘の三年忌
引く鶴の沖へ手を振る野良日和
きぎす鳴く八十五回の誕生日
黄砂降り天草島も見えかくれ
故里に つながりし海石葺汁
山笑ふ嬰は寝返り上くなり
山笑ふ足取り軽く二〇キロ
伊勢参り五十鈴の川の花衣
引き潮に乗って出漁もじゃこ船

淵脇 護
山寄加代子
白男川孝仁
坂口 静子
迫口 君代
筑前 初市
二階堂恵子
山田 哲夫
関 佳代美
大堂 光幸
大堂 早苗
大堂 正弘

創生短歌会

馬鈴薯の掘り取り作業の人夫等がひとつ所に集い
昼餉す
作業衣着てバイクに乗れる老夫婦荷台に野菜積み
て走れり
水飲みて身ぶるいなせる犬の音鎖の音に混じりて
聞こゆ
顔洗う我をせかせている如くケツトルが笛を響か
せて呼ぶ
店頭に並ぶ野菜はこもごもに作りし人の名札を背
負う
針穴にじつと黒糸近づける明るき障子のもとに通
過す
潮退きし海の干潟に脚長き鳥がしきりに泥より拾う

竹之内重信
宮元 司
野村 益信
石原百合子
村上 義彦
大塚 洋子
山下 学

長島短歌会

束の間に茜せし雲に沈む陽よ壊滅の大地震五日目
も揺るる
岩下 ち江
木の間隠れ夕日の影さすわが窓に揺るる葉末の影
のちらつく
岩下 房代
雪に枯れ再生めどなきブーゲンビリア伐り出す夫
の力なき腕
樗平 頼子
紅色の雛衣纏ひ立つごとき木の芽愛しも歩む道辺に
米尾 和子
桜散り花びら寄せて流れゆく終日の雨音たてて降る
坂之下典子
亡弟の精魂込めしこの畑に足向くまま来る今日七
回忌
中山タマエ
海荒れて波止に数多の鷗見ゆ身を寄せあひて春の
陽を受く
濱田美代子
畑中にて思ひつきたる短歌一首石に刻みしと病む
友言ひき
浜畑 松枝
わが庭の紅梅開く雪空に際立せをり香りを増して
松元 睦子
また来ると肩抱き帰る弟と逢へる日ありやブラジ
ル遠し
市尾 操

一般作品

「短歌」

竹殿はタケノ子細工竹ボーキ竹酢竹スミ役立ち多し
小林 貢
他人事それでは済まぬこの地震忘るる忽れ平素の
備え
小林 繁
街路には開花予想はなきけれど桜終わりにハナミ
ズキ咲く
母木 良平
生きる事長生きするや頑張って身体調子考へる事よ
町田 末則
「俳句」
梅雨時間蝶追ふ子らのまなこかな
桐野 眞実
入学日式辞聴く目の輝けり
脇田 武志